あおもりの農林水産業

The Agriculture , Forestry and Fisheries of Aomori Prefecture

2024

青森県

青森県自慢の逸品

全国第1位の農林水産物

りんご

にんにく

ごぼう

ヒバ

イカ類

シラウオ

地理的表示（GI）登録の農林水産物

あおもりカシス

十三湖産大和しじみ
小川原湖産大和しじみ

つるたスチューベン

大鰐温泉もやし

清水森ナンバ

青森の黒にんにく

地理的表示（GI）：その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度

近年デビューした青森県のオリジナル品種

令和5年デビュー

お米の新品種「はれわたり」

令和2年デビュー

キクラゲの新品種「青森きくらげ」

令和2年デビュー

サーモンの新品種「青い森紅サーモン」

地域の特産品

下北アピオス

嶽きみ

たっこにんにく

南部太ねぎ

屏風山西瓜

一球入魂かぼちゃ

風間浦鮟鱇

トゲクリガニ

大間マグロ

Contents

農林水産業の姿 ・・・ 1
青森県の姿 ・・・ 1
青森県の気象 ・・・ 2
経済の中での位置づけ ・・・ 3
農業経営体 ・・・ 3
食料供給県としての本県の位置 ・・・ 4
農林水産業の生産概要 ・・・ 4
農業 ・・・ 5
米 ・・・ 6
野菜 ・・・ 7
りんご ・・・ 9
特産果樹 ・・・10
花き ・・・11
畜産 ・・・12
森林・林業 ・・・13
水産業 ・・・15
流通販売 ・・・17
地産地消 ・・・18
農林水産業の担い手 ・・・19
農林水産業の基盤整備 ・・・21
Webによる情報発信 ・・・22
普及指導拠点と産業技術センター ・・・23
データ集 ・・・25

豊富な資源と地域特有の気候

青森県の姿

青森県は、三方を海に囲まれ、内湾である陸奥湾があり、海岸線総延長は約800kmに及びます。

県全体の66%が森林で、南西部にはブナの天然林が分布する広大な白神山地、中央部には八甲田連峰が広がっています。これら山々を起点とする「きれいな水」が、約1万1千kmに及ぶ水路ネットワークを経て、津軽平野や三本木原台地を始めとした広大な農地の生産を支えています。

面積

総面積	海岸線総延長
9,646㎢（全国8位）	795km

出典：面積は国土地理院（R4.10.1現在）
海岸線は国土交通省「海岸統計」（平成30年度末現在）

主な山岳

岩木山	1,625m
八甲田山（大岳）	1,585m
八甲田山（高田大岳）	1,552m

出典：国土地理院

主な河川

馬淵川	142.4km
岩木川	101.6km
新井田川	78.1km
奥入瀬川	70.7km

出典：県河川砂防課

主な湖畔

小川原湖	61.98㎢
十和田湖	61.10㎢
十三湖	17.81㎢

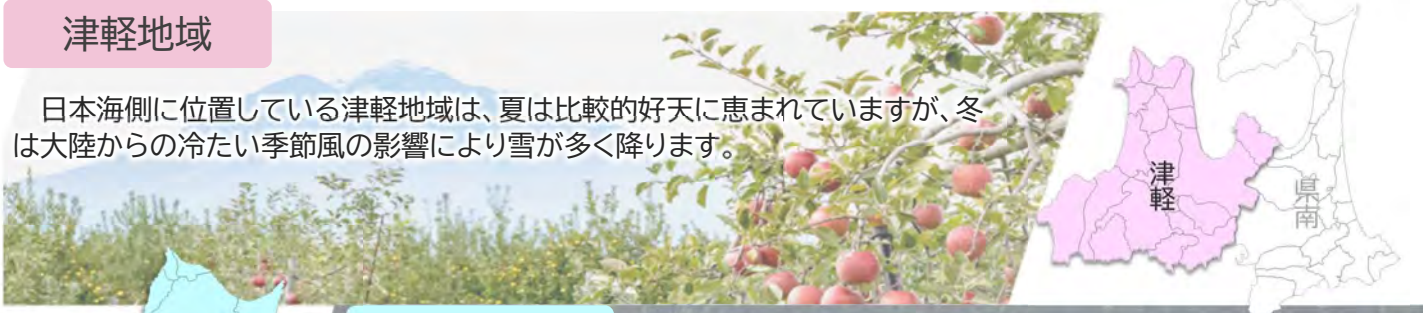
出典：国土地理院

青森県の気象

青森県は、海流の影響と、奥羽山脈が二分している地形などから地域によって気候が大きく異なります。

津軽地域

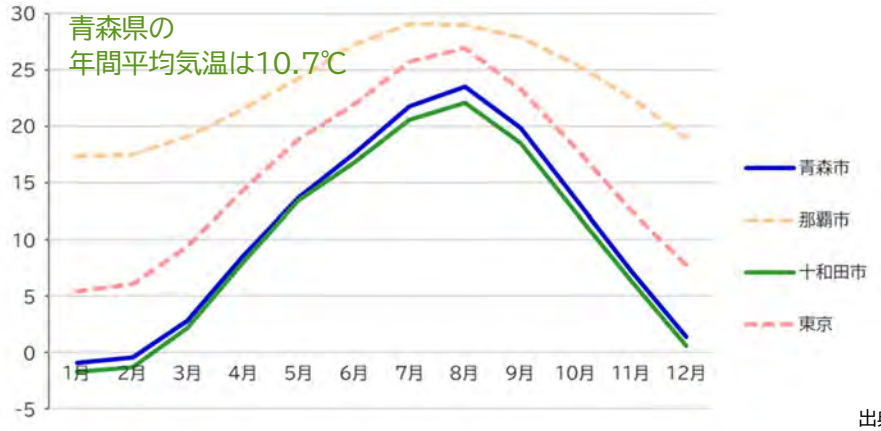
日本海側に位置している津軽地域は、夏は比較的好天に恵まれていますが、冬は大陸からの冷たい季節風の影響により雪が多く降ります。



県南地域

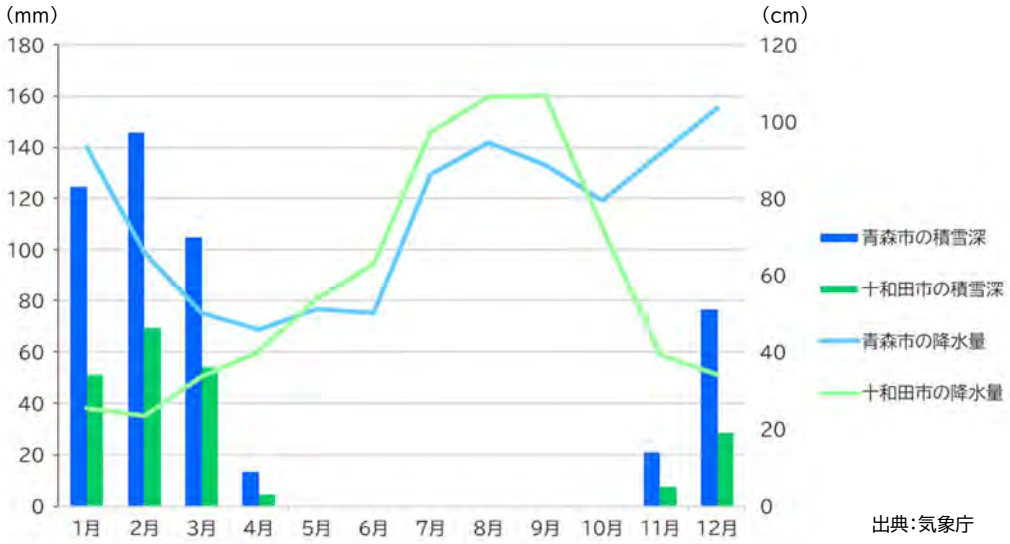
太平洋側に位置している県南地域は、夏季に冷たく湿った偏東風「ヤマセ」の影響により低温の日が多くなりますが、冬は晴天の日が多く積雪は少ないです。

月平均気温(℃)比較(1991～2020年)



出典:気象庁

青森市と十和田市の月降水量・月積雪深の比較(1991～2020年)



出典:気象庁

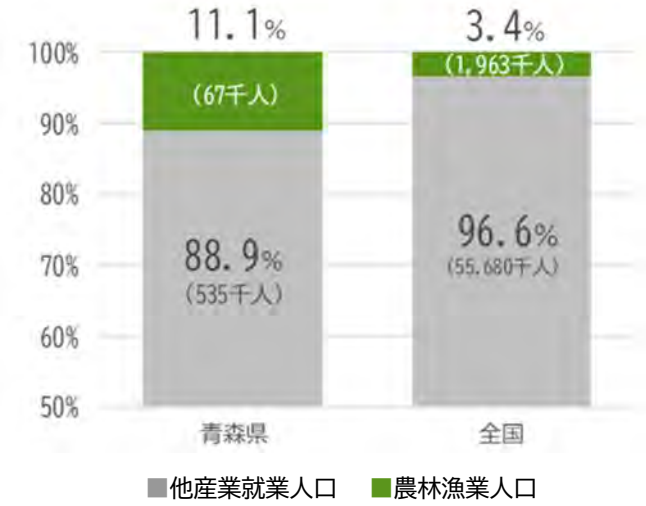
経済の中での位置づけ

本県の農林水産業は、生産にとどまらず、販売や流通をはじめ、食品加工や観光など幅広い産業と結び付き、県内経済の振興や雇用創出の面でも、大きな役割を果たしています。

本県の全就業人口に占める農林漁業者の割合は11.1%であり、全国平均の3.4%と比べて、高い水準となっています。

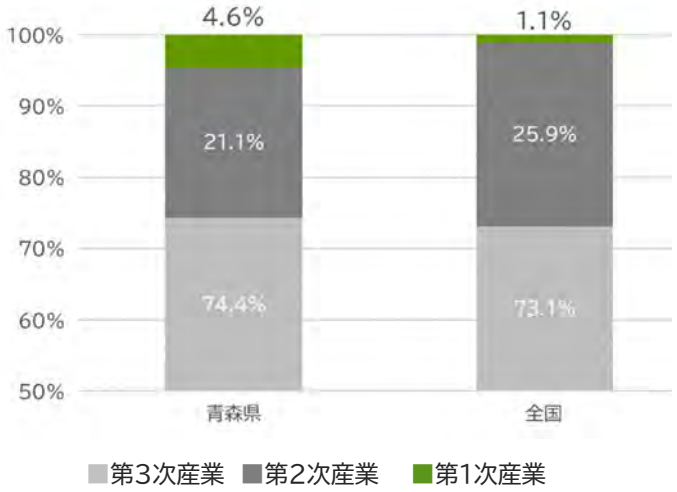
また、県内総生産に占める第1次産業の割合は4.6%で、全国平均の1.1%と比べ高い水準となっています。

就業人口に占める農林漁業人口の割合（令和2年）



出典：県統計分析課「平成27年青森県産業連関表」

産業別総生産構成割合（令和2年）



出典：青森県県民経済計算、国民経済計算

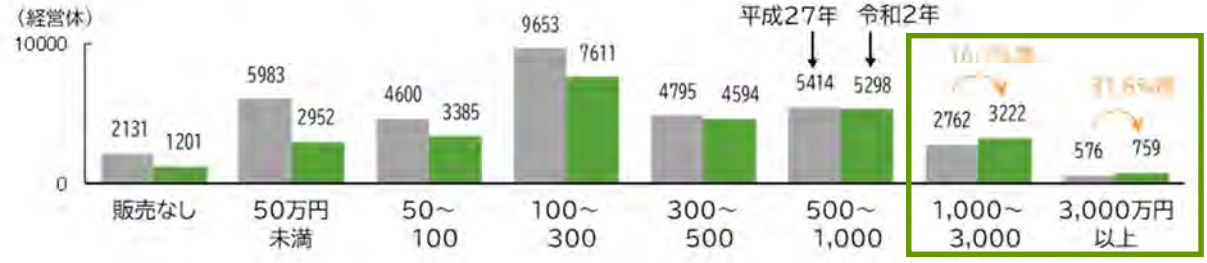
農業経営体

本県の農業経営体数は29,022経営体で、2005年の調査開始以降、 減少が続いています。（直近5年間の減少率19.2%）

一方で、株式会社や合同会社などの法人経営体が増加しているほか、農産物販売金額規模別では、1,000万円以上の比較的大規模な経営体が増加してます。

農業経営体数（令和2年）

農産物販売規模別経営体数（令和2年）



出典：農林業センサス

食料供給県としての本県の位置

本県の食料自給率はカロリーベースで全国第4位(120%)、生産額ベースで全国第3位(240%)となっています。
また、県境を越えた取引の収支を示す県際収支は1,356億円で、国内でも有数の食料供給県としての地位を築いています。

食料自給率:カロリーベース(令和3年度概算値)

1位	2位	3位	4位	5位	全国
北海道	秋田	山形	青森	新潟	
223 (前年比+6)	204 (+4)	147 (+4)	120 (▲5)	109 (▲2)	38 (+1)

出典:食料自給表

食料自給率:生産額ベース(令和3年度概算値)

1位	2位	3位	4位	5位	全国
宮崎	鹿児島	青森	北海道	岩手	
286 (前年比▲16)	271 (▲12)	240 (▲10)	220 (+3)	197 (▲19)	63 (▲4)

出典:食料自給表

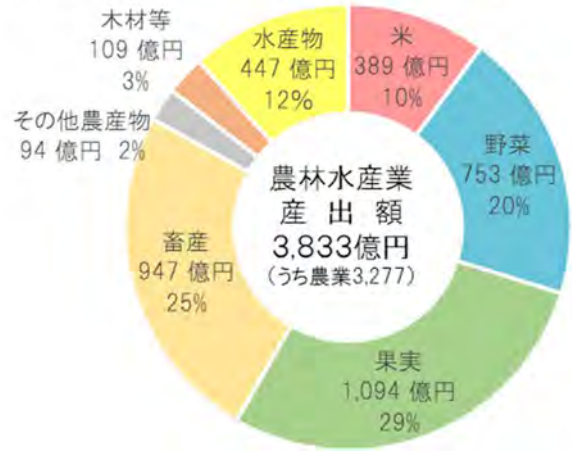
産業別県際収支(平成27年)

出典:県統計分析課「平成27年青森県産業連関表」

農林水産業の生産概要

本県の令和3年の農業産出額は、3,277億円で、全国で第7位、東北で第1位(18年連続)となっています。本県の農業は、生産量が多いだけでなく、「青天の霹靂」をはじめとする米や全国の生産量の約6割を占めるりんご、全国一の生産量を誇るにんにく、ごぼうなどの野菜のほか、様々な畜産物が各地でバランス良く生産されていることが特徴です。
林業産出額は、近年横ばい傾向で、令和3年は109億円、木材の生産量は全国第7位です。
漁業産出額は、近年減少傾向で、令和3年は447億円、海面漁業・養殖業の総生産量は全国で第6位です。

本県の農林水産業産出額構成比(令和3年)



出典:生産農業所得統計、県林政課、漁業・養殖業生産統計

本県農業産出額の全国順位(令和3年)

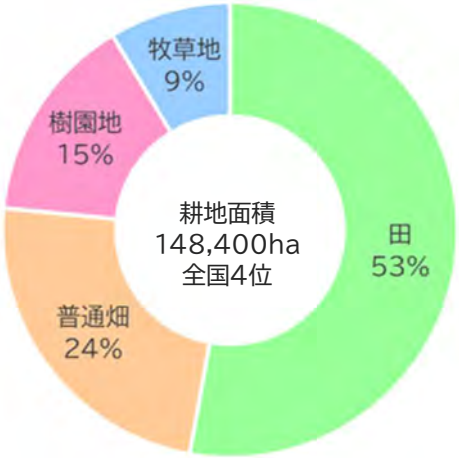
順位	都道府県名	農業産出額(億円)
1	北海道	13,018
2	鹿児島	4,997
3	茨城	4,263
4	宮崎	3,478
5	熊本	3,477
6	千葉	3,471
7	**青森**	**3,277**
8	愛知	2,922
9	栃木	2,693
10	岩手	2,651

出典:生産農業所得統計

農業

地域の特性を生かした農業が営まれています。
津軽地方では、米やりんご、県南地方では、野菜や畜産物が多く生産されています。
耕地面積は149千haで、田が53%、普通畑が24%。樹園地が15%、牧草地が9%となっています。

青森県の耕地利用割合（令和5年）



出典：耕地及び作付面積統計
※四捨五入のため、各要素の合計は100%とならない

耕地面積の大きい都道府県（令和4年）

順位	都道府県名	耕地面積（ha）
1	北海道	1,141,000
2	新潟	167,200
3	茨城	159,400
4	**青森**	**148,400**
5	岩手	147,100

出典：耕地及び作付面積統計

農業の全国ランキング

1	りんごの生産量	第1位	令和4年
2	にんにく生産量	第1位	令和4年
3	ごぼうの生産量	第1位	令和4年
4	採卵鶏1戸当たりの飼養羽数	第2位	令和5年
5	豚の1戸当たりの飼養頭数	第2位	令和5年
6	ながいもの生産量	第2位	令和4年
7	西洋なしの生産量	第3位	令和3年
8	だいこんの生産量	第3位	令和4年
9	かぶの生産量	第3位	令和4年
10	食料自給率（生産額ベース）	第3位	令和3年
11	たばこ耕作面積	第4位	令和4年
12	牧草の作付面積	第4位	令和5年
13	食料自給率（カロリーベース）	第4位	令和3年
14	耕地面積	第4位	令和3年
15	にんじんの生産量	第4位	令和4年
16	さくらんぼの生産量	第4位	令和2年
17	ブロイラーの飼養羽数	第4位	令和5年
18	メロンの生産量	第5位	令和4年
19	ピーマンの生産量	第8位	令和4年
20	ばれいしょの生産量	第10位	令和4年
21	ねぎの生産量	第10位	令和4年

青森はおいしいお米の産地である

令和5年産の米の収穫量は全国11位(全国シェア3.5%)、10a当たり収量は長野県と並び、全国1位(614kg)となっています。

「青天の霹靂」は平成27年のデビュー以来、全国各地で積極的なPR活動を展開してきたほか、8年連続で特A評価を取得したことなどにより、あおもり米全体の評価が高まってきています。

令和5年産からは「はれわたり」が新たに加わり、「青天の霹靂」「まっしぐら」とともに、それぞれの特徴を生かした新たな需要獲得を目指しています。

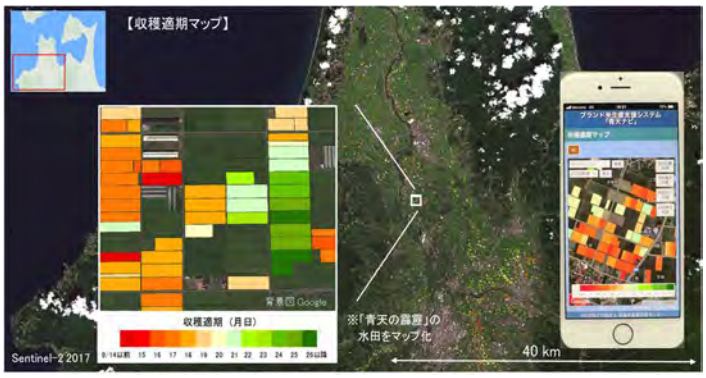
適度な弾力があり粘り気が少なく、あっさりとした味わいが特徴で、県外を中心に多様な需要に応えることができるあおもり米の大黒柱です。

粘りとキレのバランスが良く、上品な甘みに残るさっぱりとした味わいが特徴です。おいしさを重視した作り方や出荷基準を設け、津軽地域の条件の良い地域で生産しています。

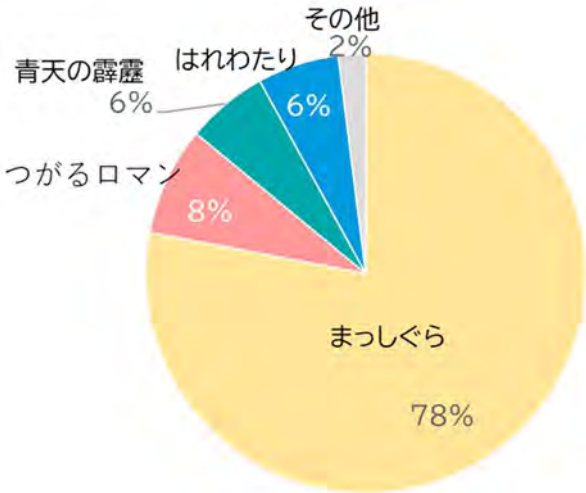
炊き上がりに白く光を放つ美しい外観と、しっかりとした粒立ちが特徴で、高温などが原因で米に割れが生じる胴割やいもち病に強い特性を持っています。

「青天の霹靂」の良食味・高品質生産のため、衛星画像からほ場ごとの水田の生育状況をデータ化するシステム「青天ナビ」を活用し、生産指導に活用しています。

令和5年度からは、このシステムを応用し、「まっしぐら」と「はれわたり」の収穫適期マップの試験運用を開始しました。



品種の作付面積割合(令和5年産)



出展:県農林水産部

「はれわたり」が令和5年全国デビュー

一般的に1つのお米の品種を開発するまでには、最短でも10年の歳月を要するとされています。　青森県の新品種「はれわたり」は、平成21年に育成をスタートし、13年の歳月をかけて県産業技術センターが開発しました。

令和5年11月3日に全国デビューし、量販店等での販売を開始したほか、特A評価を取得し、今後が期待されます。

生産者のこだわりと豊かな自然が育んだ

自慢の野菜が勢ぞろい

青森県は、火山灰を中心とした肥沃な土壌と夏季の涼しい気候を生かし、多くの野菜が生産されています。
野菜全体の産出額は東北1位で、出荷量全国ベスト10に9品目が入っています。
主力の「ながいも」「ごぼう」「にんにく」は貯蔵施設の活用等により、ほぼ周年で出荷されているほか、「トマト」「ミニトマト」は東京都中央卸売市場における8月入荷量でシェア3位となっています。

野菜の出荷量全国ランキング（令和4年）

	品目	順位	全国シェア
1	にんにく	第1位	66%
2	ごぼう	第1位	39%
3	ながいも	第2位	34%
4	だいこん	第3位	10%
5	かぶ	第3位	6%
6	にんじん	第4位	6%
7	メロン	第6位	6%
8	ピーマン	第8位	2%
9	ばれいしょ	第9位	0.5%

にんにく

国内出荷量の約7割を占めています。青森県のにんにくは、大玉で一片が大きく、実が引き締まっていることが特徴です。品質の良いにんにくを通年で供給しています。

ごぼう

日本一の出荷量を誇り、国内出荷量の約4割を占めています。青森県のごぼうは、香りと風味がよく、シャキシャキとした食感が特徴です。

ながいも

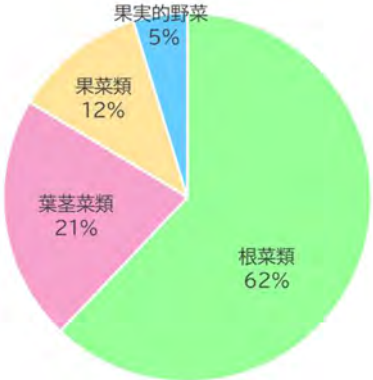
国内出荷量の約3割を占めています。青森県のながいもは、色白で粘りが強く、柔らかい肉質とアクが少ないことが特徴です。

Topics

令和6年1月に「青森の黒にんにく」が地理的表示（GI）として登録されました。

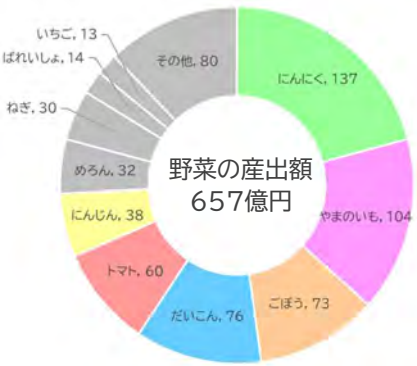
青森の黒にんにく

県産野菜の類別作付面積（令和4年）



出典：農林水産省統計

県産野菜の産出額内訳（令和4年）



出典：農林水産省統計

だいこん

国内出荷量は全国第3位です。全国的には秋冬中心ですが、青森県では、冷涼な気候を利用して夏場から安定的に出荷しています。

こかぶ

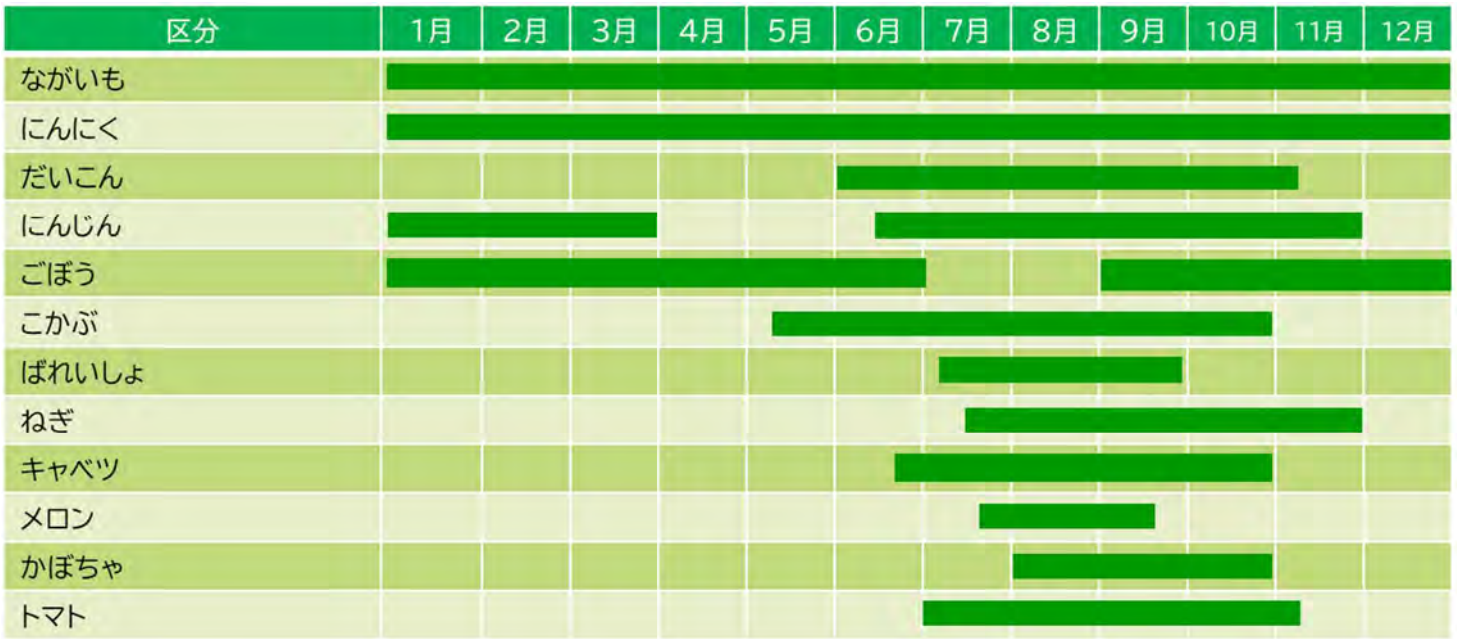
国内出荷量は全国第3位です。青森県の主力はこかぶで、品質管理を徹底し、鮮度がよいと好評を得ています。

生で食べると、瑞々しさとほのかな甘みがあることが特徴です。

にんじん

国内出荷量は全国第4位です。青森県のにんじんは、夏から秋にかけての出荷が中心で柔らかくて甘味があることが特徴です。

主な野菜の旬カレンダー



青森県オリジナル品種が続々登場

◇青森県にんにく新品種「青森福雪」

県産業技術センターが「福地ホワイト」から大玉で形状が良好なものを選抜し、青森県にんにく新品種として令和4年7月に品種登録出願しました。令和7年産から種苗供給を開始する予定です。

◇青森県ながいも新品種「青野ながいも1号」

県産業技術センターが「園試系6」を突然変異させた個体から選抜し、令和5年に品種登録出願候補として選定しました。「園試系6」よりもいも長が短いため、掘り取りしやすく、収穫作業時間の短縮や、軽労化、品質向上が期待できます。

世界に誇る青森りんご

青森りんごの生産量は約44万トンで、全国のりんご生産量の約6割を占め、約30万トンが県外に出荷されています。

県内には、700棟を超える貯蔵施設が整備され、冷却貯蔵に加えて、酸素と炭酸ガス濃度を調整してりんごの呼吸を抑制する「CA貯蔵」により、ほぼ周年で出荷が可能となっています。

光センサー選果機によるりんごの選果

通常のりんご樹よりもコンパクトな樹を密に植栽することで、少ない人手でりんご産地の維持・発展に取り組んでいます。

通常栽培

高密植わい化栽培

青森県オリジナル品種が続々登場

紅はつみ

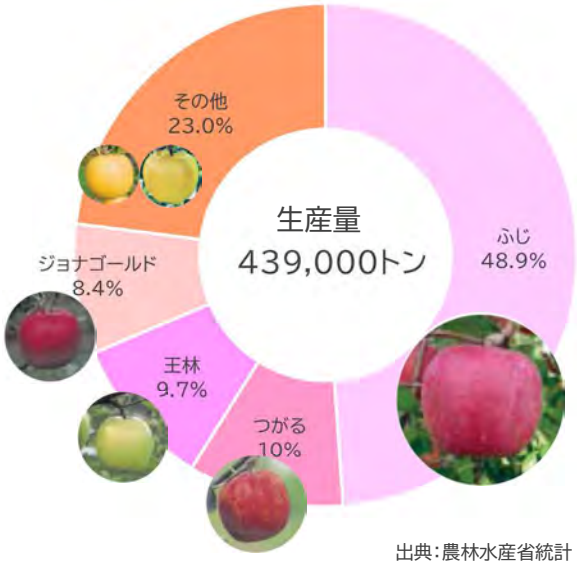
県産業技術センターが開発し、平成30年に品種登録された県オリジナルの品種です。糖度は13～14%で、早生種の中では濃厚な味がします。

はつ恋ぐりん®（あおり24）

県産業技術センターが開発し、平成25年に品種登録された県オリジナルの品種です。糖度は13～15%程度、酸度は0.8%程度と、酸味はありますが、甘みも強く、酸っぱい果物を好む人に好評です 。

品種構成の割合（令和4年）

青森りんごは全国生産量の6割を占めています。品種別生産割合では、「ふじ」が約5割を占め、次いで「つがる」、「王林」、「ジョナゴールド」となっています

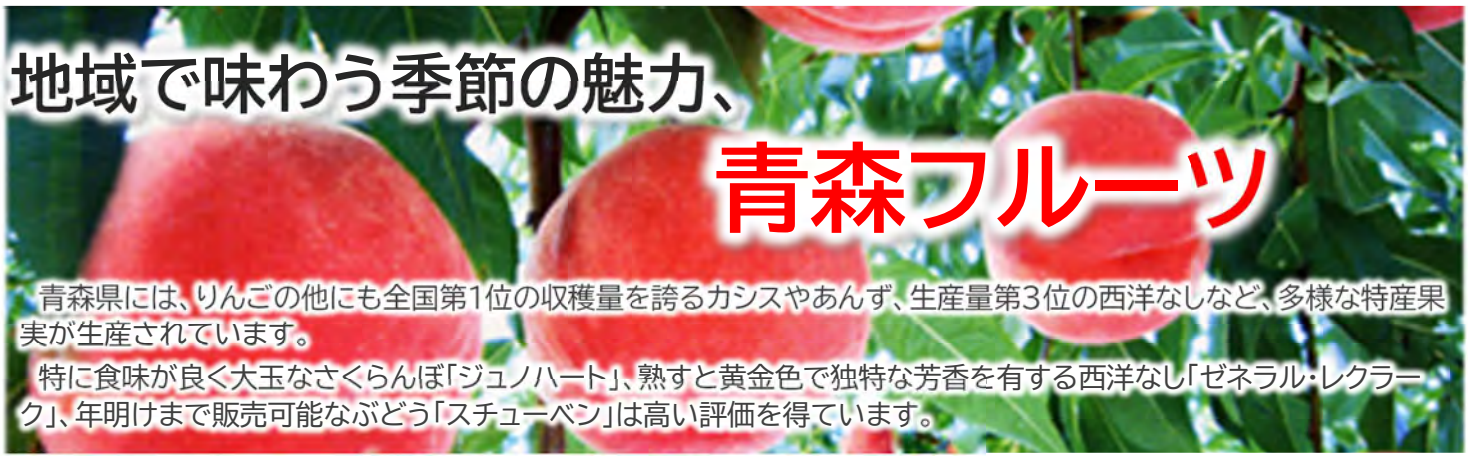


出典：農林水産省統計

青森県にりんごが植栽されてから、令和7年度で150周年

青森りんごの始まりは1875年春に内務省勧業寮から青森県へ3本の苗木が配付され、県庁構内に植栽されたのが始まりです。

青森県がりんご栽培に適していることが分かりましたが、現在に至るまでには、未知の病気や害虫、台風などの自然災害、価格の暴落など多くの苦難がありました。



地域で味わう季節の魅力、青森フルーツ

青森県には、りんごの他にも全国第1位の収穫量を誇るカシスやあんず、生産量第3位の西洋なしなど、多様な特産果実が生産されています。

特に食味が良く大玉なさくらんぼ「ジュノハート」、熟すと黄金色で独特な芳香を有する西洋なし「ゼネラル・レクラーク」、年明けまで販売可能なぶどう「スチューベン」は高い評価を得ています。

さくらんぼ（ジュノハート）

県産業技術センターが開発し、平成25年に品種登録された県オリジナル品種の「ジュノハート」は、500円玉より大きく国産品種の中でも最大級の品種です。

糖度は約20度で、甘みが強く酸味が少ないことが特徴です。果肉がしっかりしていて適度な果汁があり、優れた食味と美しい外観から贈答品として最適なさくらんぼです。

西洋なし（ゼネラル・レクラーク）

青森県の南部町がいち早く産地化に取り組んだフランス原産の西洋なし「ゼネラル・レクラーク」は、独特な芳香を有し、ジューシーでなめらかな舌触りが特徴です。

ぶどう（スチューベン）

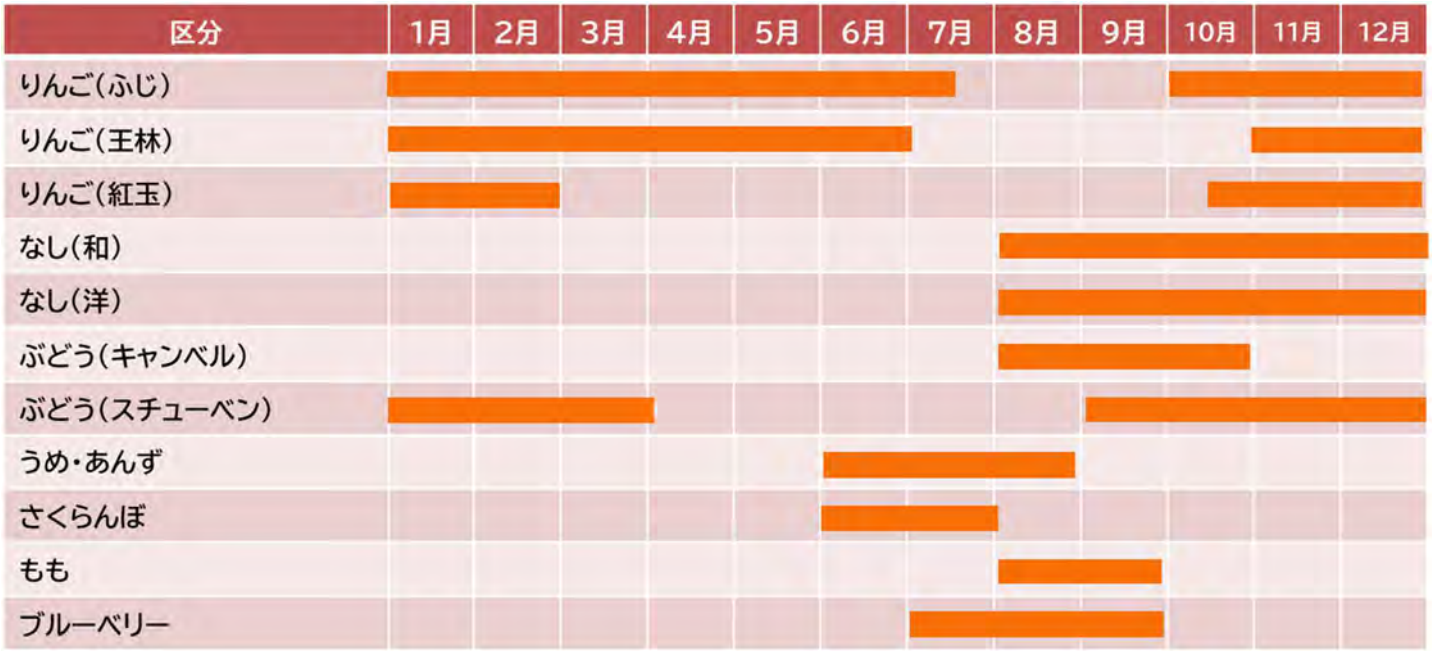
ぶどうは、特産果樹で最も栽培面積と生産量が多くなっています。

ぶどうの中で最も生産量の多いスチューベンは、ニューヨーク生まれの品種で、鶴田町や田舎館村で全国の約8割の生産量を占めています。酸味が少なく濃厚な甘みが特徴です。

特産果実の生産量全国ランキング

1	カシス	第1位	令和3年
2	あんず	第1位	令和3年
3	西洋なし	第3位	令和4年
4	さくらんぼ	第4位	令和2年
5	もも	第8位	令和4年
6	うめ	第8位	令和4年
7	ぶどう	第9位	令和4年

主な果実の旬カレンダー



夏秋期に咲き誇る、あおもりの花

夏の涼しい気候で育った青森県の花きは、色鮮やかで、日持ちが良いと評価を得ています。

青森県では、「切り花類」の生産が中心で、主にキク、トルコギキョウ、ケイオウザクラが生産されています。

キク

ヒマワリ

デルフィニウム

アルストロメリア

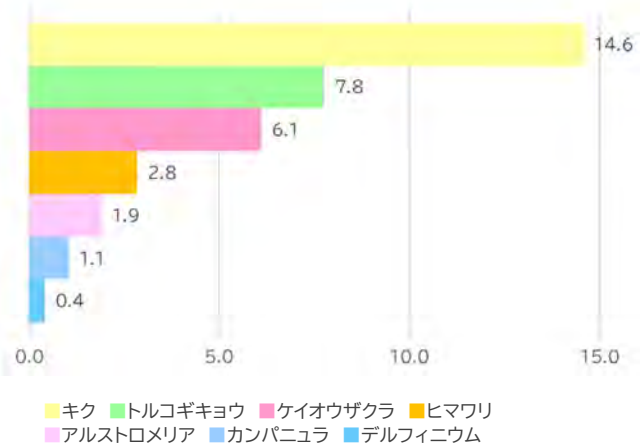
トルコギキョウ

ケイオウザクラ

県産花きの魅力を広く紹介し、消費の拡大を図るため、あおもりフラワーフェスティバル(花の共進会)を開催しています。フェスティバルでは、花きに親しんでもらえるようフラワーアレンジメント教室や模擬競りなども企画しています。

フラワーアレンジメント教室

花きの県推進品目の作付面積(令和4年) (ha)



出典:県農産園芸課

あおもりフラワーウィーク開催による県産花きのPR

青森県では、県内の花販売店と連携して、フラワーアレンジメントを販売する「あおもりフラワーウィーク」を開催しています。

令和5年は5回開催し、県産花きのPR活動と消費拡大の促進や、日常的に花に接する機会の増加を図りました。

「美味しい」が育む、「安全・安心」が養う、青森の畜産

夏季冷涼な気候と全国有数の飼料穀物コンビナートが立地している優位性を生かし、県内各地で畜産業が盛んです。

畜産の産出額は979億円で、本県農業産出額の上位10品目のうち、豚、鶏卵、ブロイラー、肉用牛及び生乳の5品目が占めています。

本県の畜産は、鶏卵鶏の1戸当たりの飼養羽数が全国第2位、豚の1戸当たりのの飼養頭数が全国第2位となっているなど大規模化が進んでいます。

あおもり和牛（黒毛和種）

あおもり短角和牛（日本短角種）

青森シャモロック

五戸町の旧県畜産試験場が、20年もの歳月をかけて育成し、平成2年にデビューした青森県オリジナルの地鶏です。

味が濃厚で、「だし」が良く出る、調理しても肉がぱさつかないことなどが特徴です。

あおもり牛

県内で生産されている黒毛和種や日本短角種、乳用種及び交雑種などの牛の総称で、青森県の冷涼な気候と広大な自然環境のもと、公共牧場などの豊富な草資源を生かして育てられています。

あおもり和牛

あおもり牛のうち、黒毛和種を「あおもり和牛」と称しています。

適度な甘みと口の中でとろける脂身の旨味が特徴です。

あおもり和牛プレミアム

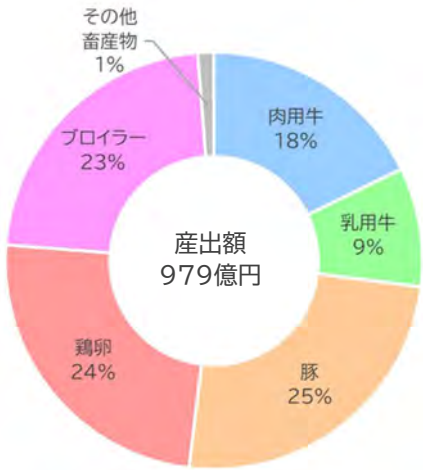
あおもり和牛のうち肉質の等級4等以上

あおもり短角和牛

あおもり牛のうち、日本短角種を「あおもり短角和牛」と称しています。

赤身の旨味成分が豊富なことが特徴です。

畜産産出額の内訳（令和4年）



出典：農林水産省統計

全国和牛能力共進会

特別賞の枝肉

唯一無二の美味しいお肉

“和牛のオリンピック”と称される「全国和牛能力共進会」が、5年に1度開催されています。令和4年度の肉牛の部において、県産牛が、特別賞（脂肪の質と形状賞）を獲得しました。

「亀花邦（かめはなくに）」を県基幹種雄牛に指定

亀花邦は、あおもり和牛の評価を一変させた、「第1花国」を父に持ち、「第2花国」以来、16年ぶりの後継牛となりました。

多様な繁殖雌牛に交配可能で、発育や体積面で優れていることから、産肉能力だけではなく、繁殖能力に重要な体型の改良にも期待されています。

森を育てる　森を引き継ぐ

日本三大美林のヒバ林、白神山地のブナ林、県南のアカマツ、スギ人工林など多様な森林が県土面積の66%を占めています。

このうち、天然ヒバの資源量は全国の約8割を占めており、スギ人工林の面積は、全国第4位の約20万haとなっています。

林業の全国ランキング

1	天然ヒバの資源量	第1位	令和3年
2	スギ人工林面積	第4位	令和3年
3	素材（丸太）生産量	第6位	令和4年
4	森林面積	第9位	令和3年

スギ

青森県のスギの資源量は全国有数。冬の厳しい寒さに何十年も耐えて育った青森のスギは、美しい木目と柔らかな色合いが特徴です。肌触りも良く、建築物のほか、家具や建具にも使われ、全国に流通しています。

ヒバ

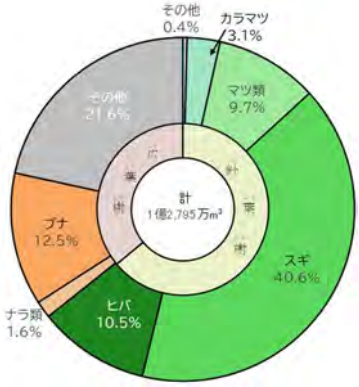
青森県には、「木曽ヒノキ」「秋田スギ」と並ぶ日本三大美林の一つである「青森ヒバ」の天然林が広がっており、主に津軽半島と下北半島に分布しています。抗菌、防腐、防虫効果がある成分「ヒノキチオール」が含まれ、木材の優等生と言われています。すがすがしい香りは、心身をリラックスさせてくれます。

アカマツ

「南部アカマツ」は、その名の通り主に県南地方に分布しています。曲げ強度が高く、梁に最適です。

粘り強さや曲がりの美しさを活かし、神社や仏閣といった歴史的建造物にも使われています。年月が経つにつれて上品なあめ色に変化していくのも、大きな特徴の一つです。

森林樹種別蓄積比率（令和5年）



出典：青森県森林資源統計書

青森きくらげ栽培試験

特用林産物の生産

青森県では、しいたけやなめこ、まいたけなどのきのこや、うど、タラの芽、ウワバミソウなどの山菜が生産されています。

特用林産物の生産額の約5割は、きのこ類が占めています。

伐って

青森県の森林は、戦後に造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。森林の伐採を効率的に行うため、航空レーザを活用した森林資源の解析の実施や高性能林業機械の導入を支援しています。

使って

青森県では、県産木材を使った住まいづくりを推奨しています。「あおもり産木材活用建築コンテスト」を毎年度開催し、県産木材の利用促進に努めています。

県産材住宅（R5あおもり産木材活用建築ｺﾝﾃｽﾄ最優秀賞）

植えて

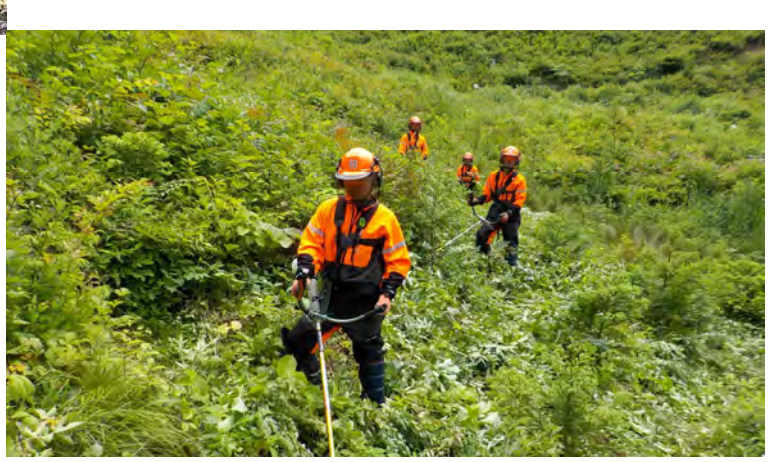
造林に要する森林所有者の負担が大きいことなどが原因で、全国的に再造林が行われない伐採跡地が増加しています。

青森県では、造林コスト等を低減するため、造林作業の効率化等が図られるコンテナ苗の導入や、伐採から造林まで一体的に行う一貫作業、低密度の植栽などを促進してます。

育てる

森林は、適切に管理を行なわなければ二酸化炭素の吸収や、水源のかん養などの公益的な機能が低下します。

青森県では、造林後の森林を適切に管理するため、植栽した木を成長させるための下刈りや、成長した木を間引く間伐などの森林整備作業を支援しています。



青森県オリジナル品種「青森きくらげ」の生産が拡大

県産業技術センターが開発し、令和2年7月10日にデビューした県オリジナルのきくらげ新品種「青森きくらげ」は、年々生産量が増加しています。

輸入の乾燥品が多い中で、夏季を中心に、主に生で流通する青森きくらげは、肉厚で歯ごたえが良く、コリコリとした食感が特徴です。香りに癖がないので、どんな料理にも良く合います。

水産業

豊かな水産資源を次世代へつなげる

青森県の沿岸は、広い砂浜や複雑な岩場があり、様々な魚介類や海藻などが生息しています。

寒流と暖流が混じり合う太平洋、暖流の影響を強く受ける日本海、津軽海峡、大型の内湾である陸奥湾という「4つの海」を持ち、それぞれが良い漁場となっています。

また、十和田湖、十三湖、小川原湖を中心とした内水面での漁業も行われています。

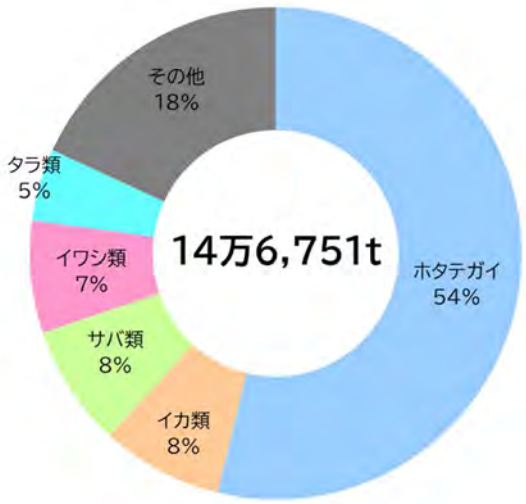
漁業生産

令和3年の本県海面漁業・養殖業の生産量は、漁業が6万7,000トン、養殖業が8万トンで、産出額は漁業が292億円、養殖業が155億円となっています。

魚種別の生産量は養殖等によるホタテガイが最も多く、次いでサバ類となっています。

内水面漁業・養殖業の生産量は約3,000トンとなっており、魚種別ではシジミの生産量が最も多くなっています。

魚種別生産量の構成割合（令和3年）



出典：漁業・養殖業生産統計

水産業の全国ランキング

1	アカイカの漁獲量	第1位
2	シラウオの漁獲量	第1位
3	ワカサギの漁獲量	第1位
4	コイの漁獲量	第1位
5	ウグイ・オイカワの漁獲量	第1位
6	スルメイカの漁獲量	第2位
7	クロマグロの漁獲量	第2位
8	ホタテガイの生産量	第2位
9	シジミの漁獲量	第2位
10	コンブ類の漁獲量	第2位
11	サケ・マス類の漁獲量	第2位
12	ヒラメの漁獲量	第2位
13	ウニの漁獲量	第4位

資源管理に取り組んでいます

青森県では、ヒラメやウスメバル、ミズダコ、ナマコなどの魚介類について、親になる魚などを残すため、漁獲可能な時期や大きさ、場所などを設定し、水産資源を守る活動に取り組んでいます。その中でも、クロマグロは国際的な取り決めにより、漁獲量を制限するなど資源管理が厳しく行われています。

増養殖

近年、海洋環境の変化などにより全国的に漁獲量が減少していることから、獲る漁業からつくり育てる漁業への転換が必要です。

このため、青森県では、県の魚ヒラメやサケ、アイナメなどの稚魚を県内各地で放流しているほか、陸奥湾のホタテガイをはじめ、コンブ、ホヤ、ワカメなどの養殖も行われています。

ホタテガイ

全国第2位の生産量を誇る青森ほたては、下北半島と津軽半島に囲まれた陸奥湾で育ち、引き立つような甘味と貝柱の厚みが特徴の成貝と、小ぶりながらもうまみの強い半成貝(ベビーホタテ)として出荷されています。

ホタテガイ養殖業を恒久的な100億円産業に変革させることを目的に陸奥湾ホタテガイ総合戦略を策定することとしています。

サーモン

県産業技術センターが15年かけて開発したご当地サーモン「青い森 紅(くれない) サーモン」は、美しい紅色の身と程よい脂のりで、上品な味わいが特徴です。また、県内で生産される「海峡サーモン」、「青森サーモン」のいずれも、身の締まりと上質な脂のりで高い評価を受けています。

ナマコ

ナマコは青森県のほとんどの地域で漁獲されていて、中でも、陸奥湾のナマコは、柔らかくおいしいと評価されています。 また、香港等への輸出も盛んです。

県内各地で種苗放流を実施しているほか、放流数の増加に向けて漁業者による簡易な種苗生産技術を開発中です。

幻の魚「マツカワ」の養殖に挑戦

青森県では、高級カレイ「マツカワ」の養殖技術の確立や陸上施設などを活用した、稚魚の量産に取り組んでいます。

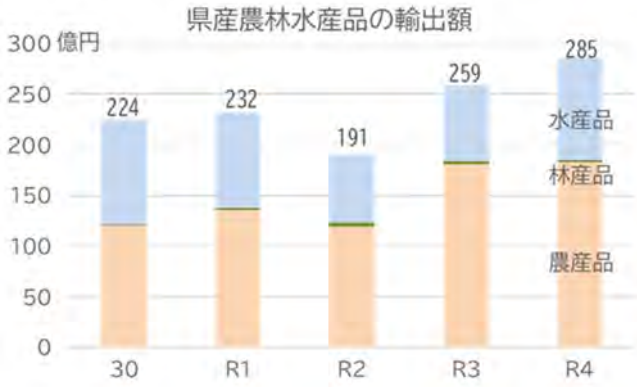
将来的には、マグロやホタテ、イカなどに続く、青森県の主力魚種に育てることを目指しています。

流通販売

青森のうまいを 全国・世界へ

県内関係者が一体となってトップセールスや青森県フェアの開催、バイヤーの産地招請などを重ね、販売先との信頼関係構築に努めています。

近年は、コロナ禍に伴い厳しい販売環境となりましたが、国内量販店等との取引額は安定しており、輸出では、円安に加えて、現地プロモーション等の実施により、りんごを中心に輸出量が伸びたことで、令和4年は過去最高の285億円となりました。



＜主な輸出品目・輸出先（R4）＞
- りんご　：160億円、台湾、香港、タイ
- ほたて　：　44億円、中国、香港、台湾
- なまこ　：　　7億円、中国、香港
- ながいも：　　2億円、アメリカ、台湾、香港

資料：ジェトロ青森　「青森県の貿易　2023年発行」

台湾では、りんごの出荷時期を迎える10月と春節前の12月に、主要な百貨店や量販店で試食宣伝を行うとともに、知事やミスりんごによるPRイベントを実施しています。

コロナ禍に対応したアバターによる県産品のPR

地産地消であおもりを元気に

県民運動ロゴマーク

青森県では、地産地消の推進に向けて、県内企業等が連携し、「地産地消で元気あおもり」県民運動を展開しています。

県民運動の発信拠点となる県民運動協力店は、令和5年度で877店を超えており、県産品利用拡大に大きく貢献しています。

量販店等での県産品PR

県民運動協力店との連携による地産地消キャンペーンの実施

小売店・飲食店等での取扱拡大に向けたマッチング交流会の開催

“だしカフェOhara2023”

「だし活＋だす活」の普及拡大に向けたイベント開催や商品開発

セブン-イレブン・ジャパンによる「青森だし活＋だす活応援フェア」開催に係る知事表敬

学校給食での県産食材利用拡大に向けた研修会の開催

学校給食での
県産食材使用率
（令和4年度・重量ベース）
65.8%

若手生産者等との連携やPOSレジデータの活用による産地直売施設の販売力強化

農林水産業の未来を担う若者たち

農業の担い手

営農大学校（卒業生計1,629人）

営農大学校は、県内唯一の実践的な農業研修教育を行う専修学校で、時代や社会のニーズに対応したカリキュラムにより、地域農業の担い手や農業を支える多様な人財を養成しています。

畜産業の担い手

畜産施設見学研修会

畜産の担い手・労働力の確保に向けて、小中学生や高校生等を対象とした施設見学研修会を開催し、就労のきっかけづくりに取り組んでいます。

高校生等を対象とした施設見学研修会

青い森林業アカデミー研修風景

林業の担い手

青い森林業アカデミー（卒業生計25人）

令和3年4月から就業希望者を対象に、林業に必要な知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う現場技術者を確保・育成しています。

水産業の担い手

賓陽塾（ひんようじゅく）での研修（修了者計132人）

漁師を目指す若者たちに、漁業に関する知識や技術を教える「賓陽塾」を開講しています。

賓陽塾におけるロープワーク

農林水産業で働いてみませんか

青森県で農林水産業に関する就業を考えている方、興味のある方は、以下の相談窓口等へ御相談ください。様々な機関と連携を取りながら、皆様の就業を支援します。

農業で働きたい方

農業労働力ワンストップ相談窓口

（無料職業紹介所）

お問合せ先　**公益財団法人あおもり農業支援センター**

電 話 番 号　**017-773-3131**（担い手支援グループ）

※月曜日～金曜日（祝日除く）8時30分～17時

青森県農業労働力求人マッチングサイト

当サイトでは、勤務地や品目などを検索し、応募したい求人に申込みができます。また、求職者登録により、希望の条件に合った求人情報が掲載され次第、農協からマッチングの案内があります。

https://www.aomori-agrijob.com

畜産業で働きたい方

お問合せ先　**青森県農林水産部畜産課**

電 話 番 号　**017-734-9496**

マイナビ農業　青森県農林水産部　検索

林業で働きたい方

お問合せ先　**公益財団青森県林業会議**

電 話 番 号　**017-772-5288**

林業事業体等の求人情報をまとめたWEBサイト

https://www.aomoriken-ringyokaigi.info/

水産業で働きたい方

お問合せ先　**青森県漁業就業者確保センター**

電 話 番 号　**017-734-9592**（県庁水産振興課内）

漁業者になる方法や求人情報をまとめたWEBサイト

https://www.aomoriryoushi.jp/

農泊を体験してみませんか

青森県には、自然豊かな農山漁村には、心安らぐ田園風景、懐かしい伝統文化、素朴であたたかい人間関係など、都会では失われつつある魅力と潤いに満ちたくらしが残っています。

農泊とは、このような緑豊かな農村や山村、漁村に滞在して、その地域の豊かな自然や長い歴史に培われた文化、そして人々との触れ合いを楽しむ旅のこと、県内では、農業体験の受入れをはじめ、農家レストラン、農家民宿などさまざまな取組が行われています。

忙しい日常を離れ、自然の中でのびのびと過ごす、農泊の旅へ出かけてみませんか。

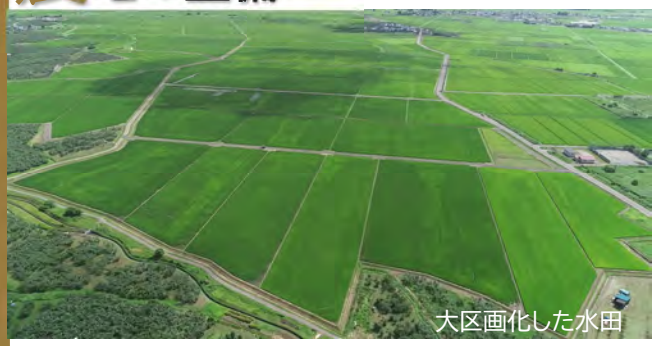
ふるさとの家（五戸町）

農泊を体験したいかたは、こちらから
https://www.pref.aomori.lg.jp/shoshiki/nourin/kozoseisaku/greentourism.html/

青森県の農林水産業を支える基盤整備

青森県の魅力あふれる農林水産物を安定的かつ効率的に生産するため、農地や漁港などの生産基盤の整備を行っています。

農地の整備


大区画化した水田

スマート農業にも対応した基盤整備

農作業の省力化や生産性コストの低減を図るため、スマート農業技術の活用を可能とする農地の大区画化などの基盤整備を行っています。

また、水田の担い手への農地の集積・集約化や生産コスト低減のため、農地の大区画化などの整備を行うほか、収益性の高い農業の展開を後押しするため、水田の排水施設（暗きょ）を整備する汎用化や畑地化を行っています。

農業・農村の防災・減災、強靭化対策

農業用水の安定的な供給や豪雨時の排水を確保するため、老朽化している水路や排水機場などを補修・更新しています。

また、農村地域の安全・安心を守るため、ため池の整備などを進めています。

農業用ため池

漁港・漁場の整備

養殖を支援する漁港整備

漁港の整備

水産業の成長産業化に向けて、近年の激甚化・頻発化する災害リスクへの対応力強化や、養殖を支援する漁港の拡張や静穏な水域確保等に取り組んでいます。

漁場の整備

漁場生産力の強化を図るため、藻場や育成場、魚礁漁場を沿岸から沖合まで一体的に整備しています。

今別沖に設置する高さ21メートルの魚礁

山・川・海をつなぐ健全な水循環の普及

青森県では、県内の小学校や土地改良事業団体連合会と連携して、農業水利施設をめぐる「水の旅」や、校外学習発表会を開催し、子供たちに農林水産業における健全な水循環の大切さを普及しています。

農林水産業の情報が満載

青森県農業・就農情報サイト「農なび青森」

県内で農業に携わる方やこれから農業を始める方に役立つ農業・就農情報を発信

https://www.nounavi-aomori.jp/

農業者向けトップページ

（主なコンテンツ）
- 生産情報や気象等の情報提供
- 水稲生育予測機能
- メール配信やSNSによる情報発信

就農希望者向けトップページ

（主なコンテンツ）
- 就農支援策等の紹介
- 就農適性診断機能
- 先輩就農者へのインタビュー

農林水産業関係のWebサイト

あおもり産品情報サイト「青森のうまいものたち」

「注目の商品」や「産地情報」、「あおもり産品販売店」の情報

https://www.umai-aomori.jp/

青い森からの贈り物～青森の森林・林業～

青森の森林・林業に関する情報や、青い森林業アカデミーの情報

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/rinsei/aomorisinringyo.html

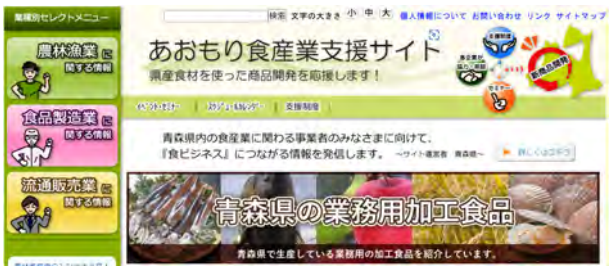
あおもり「みんなの食堂」と農林水産業のネットワークウェブサイト

共食の場である「みんなの食堂」の活動や食材情報、食材マッチング実績

http://shokudou.aosyakyo.or.jp/

あおもり食産業支援サイト

食産業関連の情報提供や、事業者が相互に情報交換ができる場を提供



https://www.aomori-shokusangyo.com

普及指導拠点

県内の各地域県民局地域農林水産部が生産者等に対して、普及指導を行っています。

東青地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒030-0861 青森市長島二丁目10-3（青森フコク生命ビル内）
TEL 017-734-9961　FAX 017-734-8305

東青地方水産事務所
〒030-0901 青森市港町二丁目22-4
TEL 017-765-2520　FAX 017-765-2521

下北地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8
TEL 0175-22-2685　FAX 0175-22-3212

下北地方水産事務所
〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8
TEL 0175-22-9732　FAX 0175-22-8626

西北地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒037-0046 五所川原市栄町10
TEL 0173-35-5727　FAX 0173-33-1345

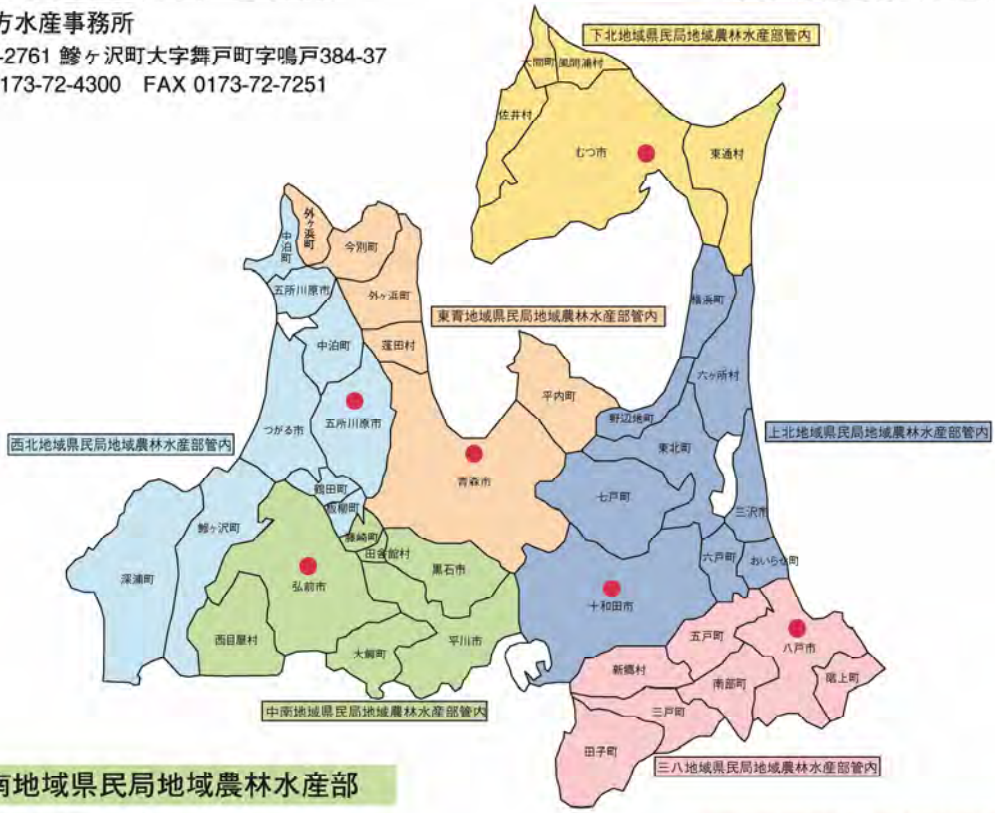
農業普及振興室つがる分室
〒038-3146 つがる市木造桜木9-1
TEL 0173-42-2222　FAX 0173-42-2272

西北地方水産事務所
〒038-2761 鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37
TEL 0173-72-4300　FAX 0173-72-7251

上北地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒034-0093 十和田市西十二番町20-12
TEL 0176-23-4281　FAX 0176-25-7242

農業普及振興室三沢分室
〒033-0024 三沢市東岡三沢一丁目1-7
TEL 0176-53-2498　FAX 0176-53-8539



中南地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒036-8345 弘前市大字蔵主町4
TEL 0172-33-2902　FAX 0172-34-4390

農業普及振興室黒石分室
〒036-0522 黒石市田中82-9（農林総合研究所内）
TEL 0172-52-4335　FAX 0172-53-4114

三八地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7
TEL 0178-23-3794　FAX 0178-27-3323

農業普及振興室三戸分室
〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7
TEL 0179-23-3264　FAX 0179-23-3274

三八地方水産事務所
〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼1-131
TEL 0178-21-1185　FAX 0178-20-1108

地方独立行政法人青森県産業技術センターの取組

地方独立行政法人青森県産業技術センターは、工業・農林・水産・食品加工の4つの研究部門が一体となった試験研究機関です。

新たな技術や製品開発、地域の生産者や企業のニーズに応じた研究、分析・試験・調査、技術相談・指導のほか、各種研究会、講演会等で技術情報を提供しています。

6種類のロボット操作を体験できる試験室

工業部門

県内の企業が抱える技術的な課題の解決に向けた技術相談、機器貸出し、依頼試験等による支援に加え、ものづくりの各分野における研究開発などを行っています。

工業総合研究所、弘前工業研究所、八戸工業研究所

農林部門

水稲、ながいも、りんご、きのこなどの新品種の育成、肉用牛の基幹種雄牛や特産地鶏など家畜の改良、農林産物の高品質・安定生産や森林の管理技術の研究などを行っています。

農林総合研究所、野菜研究所、りんご研究所、 畜産研究所、林業研究所

水稲新品種「はれわたり」

陸上養殖した高級カレイ「マツカワ」

水産部門

海や川・湖における漁場環境、資源管理、漁業管理技術、栽培漁業・養殖技術の調査・研究などを行っています。

水産総合研究所、内水面研究所

加工部門

県産農林水産物を生かした加工品の研究開発のほか、加工グループ、企業に対する技術普及や指導などを行っています。

食品総合研究所、下北ブランド研究所、農産物加工研究所

非破壊計測によるブリの脂質測定

農林水産業の姿関係

農産物（令和4年）

区分	作付面積	生産量	産出額
米	39,600ha	235,200t	405億円
りんご	20,300ha	439,000t	988億円
特産果樹	—	—	63億円
野菜	14,871ha	348,157t	672億円
花き	79ha	12,880	19億円
工芸作物	—	—	17億円
その他	—	—	24億円
計	—	—	2,190億円

出典：農林水産省統計より作成、花きは県農産園芸課
※野菜（いも類含む）の作付面積、生産量は主要26品目）

土地利用（令和5年）　単位：ha

区分	964,595	（100%）
農　地	148,400	（15%）
森　林	634,430	（66%）
その他	180,908	（19%）

出典：全国都道府県市町村別面積調、作物統計調査
青森県森林資源統計書

畜産物（令和5年2月1日現在）

区分	飼養頭羽数	産出額（4年）
乳用牛	12,400頭	89億円
肉用牛	57,100頭	171億円
豚	356,300頭	240億円
鶏	3,635千羽（採卵鶏：成鶏めす） 6,905千羽（ブロイラー）	451億円
その他	—	28億円
計	—	979億円

出典：畜産統計、生産農業所得統計

農業産出額及び食料品・飲料等製造業の出荷額　単位：億円

区分	農業産出額	食料品・飲料等製造業の出荷額
令和2年	3,262	5,064
3年	3,277	—
4年	3,168	—

出典：生産農業所得統計、青森県の工業

林産物（令和3年）

区分	生産量	産出額
木材	1,156千㎥	104億円
きのこ	379t	2億円
その他林産物	—	2億円
計	—	106億円

出典：青森県特用林産物生産調査、木材需給報告書、
県林政課

県内総生産（令和2年度）

区分	生産額
県全体	44,566億円
農林水産業	2,038億円
農　業	1,775億円
林　業	32億円
水産業	231億円

出典：青森県県民経済計算

水産物（海面）（令和3年属人）

区分	生産量（漁獲量＋収穫量）	産出額（3年）
ホタテガイ	78,948t	149億円
イワシ類	10,774t	4億円
イカ類	11,721t	79億円
サバ類	11,752t	10億円
タラ類	6,972t	10億円
その他	26,584t	195億円
計	146,751t	447億円

出典：漁業・養殖業生産統計

米関係

米の作付面積と収穫量

区分	作付面積（ha）	10a当たり収穫量（kg）	収穫量（t）	作況指数
令和3年	41,700	616	256,900	102
4年	39,600	594	235,200	99
5年	40,500	614	248,700	102

出典：農産物統計

米の作付品種の検査数量及び等級割合（令和5年産）

区分	検査数量（t）	1等比率（%）
つがるロマン	10,895	61.7
まっしぐら	143,422	70.6
青天の霹靂	11,024	60.3
はれわたり	8,457	69.2
その他	2,475	—
計	176,237	69.4

※検査数量及び1等米比率（水稲うるち米）は、令和5年12月末現在

出典：農林水産省

畑作物関係

主な畑作物の作付面積　　単位：ha

区分	大豆	小麦	葉たばこ	そば	なたね
令和2年	4,840	716	635	1,670	202
3年	5,070	701	596	1,700	171
4年	5,390	733	336	1,750	177
4年収穫量（t）	4,420	1,910	797	473	260

出典：作物統計（葉たばこ除く）、葉たばこは県農産園芸課

野菜関係

主な野菜の作付面積　　単位：ha

区分	野菜作付面積	だいこん	ながいも	にんじん	ねぎ	ばれいしょ	にんにく	ごぼう	メロン	トマト
令和2年	15,098	2,830	2,230	1,200	487	672	1,460	2,320	490	374
3年	14,943	2,770	2,230	1,260	474	677	1,430	2,370	449	377
4年	14,871	2,700	2,220	1,180	490	606	1,420	2,340	407	358

出典：野菜生産出荷統計※トマトはミニトマト、加工用含む

りんご関係

りんごの栽培面積

区分	栽培面積（ha）	わい化栽培（%）	有袋栽培（%）
令和2年	20,400	24.2	21.3
3年	20,400	24.4	19.9
4年	20,300	24.9	18.5

出典：農林水産省統計、県りんご果樹課

りんごの収穫量

区分	収穫量	出荷量	輸出量
令和2年	463,000	420,100	34,432
3年	415,700	377,000	30,545
4年	439,000	398,600	42,224

出典：農林水産省統計、財務省貿易統計

特産果樹関係

特産果樹と栽培面積　　単位：ha

区分	ぶどう	さくらんぼ	西洋なし	もも
令和2年	426	303	140	140
3年	422	-	141	144
4年	419	-	138	151

出典：園芸作物統計、耕地及び作付面積統計

特産果樹の収穫量　　単位：t

区分	ぶどう	さくらんぼ	西洋なし
令和2年	4,810	682	1,720
3年	4,510	-	1,780
4年	3,260	-	1,870

出典：園芸作物統計、果樹生産出荷統計

花き関係

花きの県推進品目の作付面積（令和4年）　単位：a

品目		面積
重要品目	キク	1,457
	トルコギキョウ	776
地域振興品目	ケイオウザクラ	610
	ヒマワリ	284
	アルストロメリア	192
	カンパニュラ	106
	デルフィニウム	41

出典：県農産園芸課

畜産関係

特産地鶏「青森シャモロック」生産羽数　単位：羽

区分	生産羽数
令和2年	37,610
3年	35, 315
4年	37, 425

出典：県畜産課

公共牧場における放牧状況

区分	公共牧場	草地面積	放牧頭数
令和2年	90か所	6,192ha	3,479頭
3年	89か所	6,188ha	3,265頭

出典：県畜産課

主要家畜の飼養頭羽数

区分	乳用牛（頭）	肉用牛（頭）			豚（頭）	鶏卵鶏 ※千羽（成鶏メス）	ブロイラー ※千羽
			肉用種	乳用種・交雑種			
令和3年	12,000	53,400	29,900	23,500	352,700	5,332	7,087
4年	12,200	54,600	30,900	23,800	358,600	4,650	8,058
5年	12,400	57,100	32,090	25, 100	356,300	3,635	6,905

出典：農林水産統計年報、県畜産課、畜産統計

森林・林業関係

木材の素材生産量　単位：千㎥

区分	計	針葉樹					広葉樹
		小計	アカマツ クロマツ	スギ	カラマツ	その他	
令和元年	1,120	1,052	110	868	49	25	68
2年	1,091	1,028	120	849	45	14	63
3年	1,156	1,109	108	951	35	15	47

出典：農林水産省木材統計、県林政課

きのこ類生産量　単位：t

区分	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	まいたけ	ひらたけ	あらげきくらげ	計
令和2年	210	184	77	11	0	9	491
3年	175	176	0	10	0	18	379
4年	206	185	0	10	0	34	434

出典：青森県特用林産物統計

その他特用林産物の生産量

区分	くり（t）	くるみ（t）	わさび（t）	ひば油（ℓ）	木炭（t）	木酢液（ℓ）
令和2年	9	2	4	15,520	102	13,486
3年	22	2	3	11,300	21	3,841
4年	10	2	1	10,800	23	1,533

出典：青森県特用林産物統計

水産業関係

海面漁業・養殖業の生産量・産出額（令和3年）

区分	生産量（t）	生産額（億円）
海面漁業・養殖業	146,751	447
海面漁業	66,867	292
養殖業	79,884	155
内水面漁業・養殖業	2,945	-

漁業・養殖業生産統計

養殖生産（令和3年）　単位:t

種類	収穫量
ホタテガイ	78,552
ニジマス	1,140
ホヤ類	144
ワカメ類	37
その他	-

出典：青森県海面漁業に関する調査結果書（ニジマスのみ）
出典：漁業・養殖業生産統計

栽培魚種（令和3年）　単位:t

種類	生産量
サケ類	553
ヒラメ	760
ウニ類	393
アワビ類	16

出典：漁業・養殖業生産統計

農林水産業の担い手関係

農業経営体の構成　単位:経営体

区分	農業経営体	個人経営体	団体経営体	うち法人
平成27年	35,914	35,037	877	524
令和2年	29,022	28,232	790	646
増減数	△6,892	△6,805	△87	122
増減率	△19.2%	△19.4%	△9.9%	23.3%

出典：農林業センサス

林業経営体の推移　単位:経営体

区分	林業経営体
平成27年	2,059
令和2年	678
増減数	△1,381
増減率	△67.1%

出典：農林業センサス

水産業経営体の構成　単位:経営体

区分	水産業経営体	個人経営体	団体経営体	うち法人
平成25年	4,501	4,371	130	41
平成30年	3,702	3,567	135	48
増減数	△799	△804	5	7
増減率	△21.6%	△22.5%	3.7%	14.6%

出典：漁業センサス

基幹的農業従事者数及び平均年齢（令和2年）　単位：人

区分	合計	性別		年齢別				平均年齢
		男性	女性	15～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	
青森県	48,083	26,576	21,507	6,391	6,255	6,111	29,326	65.4歳
全国	1,363,038	822,144	540,894	147,468	126,902	140,047	948,621	67.8歳
青森県割合	100.0%	55.3%	44.7%	13.3%	13.0%	12.7%	61.0%	
全国割合	100.0%	60.3%	39.7%	10.8%	9.3%	10.3%	69.6%	
全国差（ポイント）		△5.0	5.0	2.5	3.7	2.4	△8.6	

出典：農林業センサス

「農林水産業が持続的に発展する社会」の実現に向けて、農林水産分野の具体的な取組をまとめた

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ

令和6年4月からスタート

表紙の写真

①スマート農業機械の自動運転

②放牧中の乳用牛

③間伐作業中の一休み

④りんご園地

⑤魚礁に集まるウスメバルの幼魚

⑥海峡サーモンの水揚

令和6年4月
発行　青森県農林水産部農林水産政策課
〒030-8570　青森市長島一丁目1番1号
TEL(代表)017-722-1111(内線4982)
　　(直通)017-734-9457
FAX　　017-734-8133
E-mail:nosui@pref.aomori.lg.jp
県庁HP　https://www.pref.aomori.lg.jp

「農林水産力」強化パッケージ

農林水産力　検索

あおもりの農林水産業

あおもりの農林水産業　検索